

送り手と貰い手の為のお守りのコミュニケーション

Communication of the lucky charm for a consignor and a receiver

高橋瑠璃
指導教員 李盛姫

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 ビジュアルコミュニケーション研究室

キーワード：お守り,コミュニケーション,若者

1. はじめに

従来、お守りとは「神社の護符をみにつけて、悪霊を防ぐもの」とされており、江戸時代に懐に入れて肌身離さず持ち歩くことから広まった。しかし、近年ではお守りをご利益以外に外装への力を入れているものが増加している。そこで本稿では、多くの人に手に取ってもらえるようなお守りのデザインを提案する。

2. 研究目的

本研究では、お守りへの関心を高めること、お守りがもっと身近に感じられるようにして行くことを目的とする。

3. 調査内容

3.1 お守りの形状

現在、神社で受けることができるお守りの形状は多種多様化している。お守りの一般的なイメージは、「懸守」と呼ばれる錦の小袋に神札を納めたものが多い。一方でこどものお守りとして「背守り」と呼ばれる着物²の背中に糸糸で飾り縫いをしたものや、布袋に小豆やお札を入れたものもある。

3.2 なぜお守りを持つのか

お守りとは本来、神社に参拝することができない遠方の人々のために作られ、人々の生活に密着していた³。しかし、現在ではお守りの本来の意図を理解せず、所持することに意味があると考えている人が多い。そこで、大学生・大学院生 25人にアンケートをとった¹。

3.3 調査結果

全体の 85%の人が何らかのお守りを持っていると回答した。

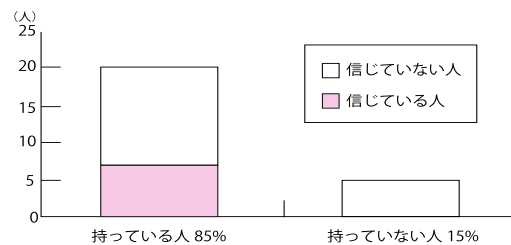


図1 お守りを持っている人と持っていない人

図1にお守りの所持と信仰の有無を示す。図1より、お守りを所持している人は全体の85[%]いるが、所持している人の中で信仰している人はわずか15[%]程しかいないことが分かる。このことより、お守りを持つ意味と信仰心の関係性は薄いことが分かった。

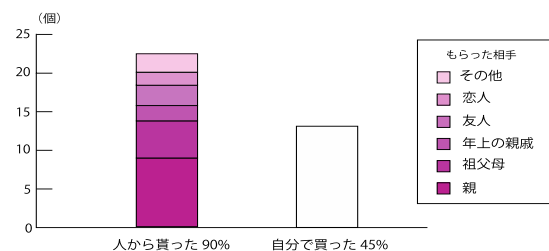


図2 お守りを貰った人と自分で買った人

図2は～を示す。図2より、自身で神社や寺で受けるより、親戚といった身近な年上の人から頂く割合が多いことが分かった。大学生の年齢層(19～24)ではお守りを人にあげた経験よりも貰った

経験の方が多いことが分かった。

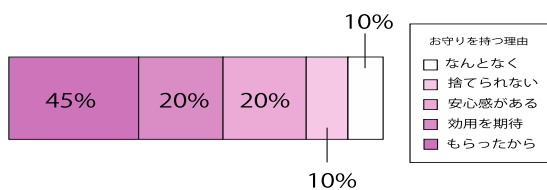


図3 お守りを持ち続ける理由

図3にお守りを所持する理由を示す。図3より、なぜ貰ったお守りを持ち続けているのかという質問に対し、「もらったものだから大切にしたい」「効用を期待したいから」等といった回答が挙げられた。

4. 調査結果と現状分析

これらの研究結果をもとに、お守りとはご利益の有無ではなく送り手と貰い手の気持ちのコミュニケーションであること、また安心感があるからだというのがわかった。また、現在の若者はお守りを持つことによるご利益は信仰からくるものではなく、人から頂いたものを大切にしようという人とのつながりからくるものであることが推測できる。

お守りのご利益は神社によって異なっていた。つまりお願いする内容によってお守りの形を変えろということは今ほどではなかった。しかし近年ではあらゆるお守りの身に着け方を具体的に対応する形となった。お守りは多種類に細分化し、様々な霊験種類のお守りが一つの神社で手に入るようになり、その形状も多様化している。

5. 提案物と試作展開

これまで調査してきた内容を踏まえ、今回私は送り手と貰い手のコミュニケーションを生み出す・身につけやすいアクセサリ感覚のお守り・日常的に使われやすいものにも展開するお守りを提案する。

ターゲット層は中学生、高校生、大学生といった若年層を中心に考えており、提案物もそのターゲットに合わせた色合いにする予定だ。またアクセ

サリ感覚のものにする為に小袋型ではなく家財結びを利用したブレスレット状のものを図4に提案する。試作の段階では水引やヘアゴムを使用し、結び方や見栄え、素材などを検証している。

6. まとめ

本稿では、立命館大学人間科学研究所で調べた結果等を元に調査を行い以下のことがわかった。

- ① お守りの種類は多種多様であること
- ② 若年層の人達にはお守りへの関心が少なかったこと
- ③ 送り手と貰い手の気持ちのコミュニケーションであること

今後の展開として、提案物に沿って試作を重ねていき、最終提案として色合いと素材などを決定して行く予定だ。

7. 参考文献

- 1) 荒川 歩, “人はお守りをなぜ持つのか?” 日本パーソナリティ心理学会, P1-4, 2004
- 2) お宮参りの「背守り（背紋飾り）」「紐飾り」とは? : 2019/06/24
<https://fotowa.com/funmily/2016/11/what-is-s-emamori-and-himokazari/>
- 3) 荒川 歩, 村上 幸史 “「お守り」をもつことの機能”日本パーソナリティ心理学”, P85-97, 2006